

745の企業・団体が出展。今年も東展示棟全ホールで開催

「グリーン×クリーン革命！いのちをつなぐ力を世界へ」

日本最大級の環境展示会

エコプロダクツ2010

2010年12月9日(木)～11日(土) 10:00～18:00 [11日(土)は10:00～17:00]

東京ビッグサイト 東展示棟1～6ホール 入場無料



(社)産業環境管理協会と日本経済新聞社は、**12月9日[木]～11日[土]の3日間、東京国際展示場(東京ビッグサイト)において、「エコプロダクツ 2010」を開催いたします。**企業・団体、NPO・NGO、行政・自治体、大学・研究機関、そして一般生活者といった様々な立場の人が、エコプロダクツや環境活動に触れ、それぞれのスタイルでエコライフの実現を考える、**日本最大級の環境展示会**です。

第12回目の開催を迎える「エコプロダクツ 2010」は、745社・団体、1,762小間が出展。東京ビッグサイトの東展示棟全ホールを使用し実施します。3日間で18万5千人の来場を見込んでいます。

この展示会では、家電や日用品をはじめ、化学や紙などの素材、エネルギー、金融、環境先端技術やソリューションなどあらゆる分野のエコプロダクツ・サービス、環境技術が展示されます。ビジネスパーソンには最先端の環境ビジネスに関する情報を、一般生活者には今日から始められるエコライフのヒントを提供します。また出展企業のCSR活動や、環境系NGO・NPO、市民団体による活動、政府や自治体の環境政策なども紹介され、日本国内の環境活動の動きを知る絶好の機会となります。

「2020年までに温室効果ガスを25%削減し、持続可能な社会を実現するために何ができるのか、次の10年で何をしなければならないのか」を考え、実践する場を提供していきます。

今年のエコプロダクツのテーマは「グリーン×クリーン革命！いのちをつなぐ力を世界へ」

グリーン＝「豊かな地球環境とそれを支える社会」、クリーン＝「環境問題を解決するテクノロジー」。この2つの力が大きなイノベーションを生み、次世代へとつながる社会の形成を加速させると考え、今年のテーマを「グリーン×クリーン革命！いのちをつなぐ力を世界へ」としました。持続可能な社会の実現に向けて企業や団体などが集結し、深刻化する地球温暖化や生物多様性保全の問題などを重要な課題として取り上げ、最先端のエコプロダクツや環境技術を展示・紹介していきます。

公式サイト(<http://eco-pro.com>)では、「オンラインガイド」で出展製品・サービスの情報や各出展者の体験プログラムなどを検索することができます。ご来場前にチェックして、「エコプロダクツ 2010」を、より深く、より楽しく体験いただけます。「オンラインガイド」は、出展者により随時更新されます。

本展示会の情報を、貴媒体にぜひご掲載くださいますよう宜しくお願い申し上げます。また、ご掲載の折には、掲載紙・誌、URLなどを広報事務局(最終ページ参照)までお送りいただくと幸いです。



エコプロダクツ 2010 の見どころ

最新のエコプロダクツや環境技術の展示だけでなく、様々な体験コーナー、著名人のライブトーク、ガイドツアーなどをご用意。ビジネスパーソン、子供、ファミリー、学生など、あらゆる世代の方が楽しめるブースが盛りだくさんです。

今、話題の「生物多様性」、「スマートコミュニティ」、「エコモビリティ」がわかる！～テーマゾーンの紹介

■生物多様性ゾーン

現在名古屋で開催されている「生物多様性条約第 10 回締約国会議 (COP10)」を受け、生物多様性とは何か、生物多様性を保全するためにはどうすればよいか、などをわかりやすく解説します。

また企業や自治体が生物多様性の維持に取り組む先進的な活動や、ピオトープを通して自然と触れ合うことの大切さなどを紹介します。



■スマートコミュニティゾーン

太陽光発電、メガソーラー、風力発電、超電導ケーブルなどによる新エネルギーや燃料電池、そして有機 EL 照明、ヒートポンプなどによる ZEB(ゼロエネルギービル)など、最新の取り組みを紹介します。また大容量通信、次世代自動車分野での取り組み事例、さらに省エネ、創エネを行うスマートハウスのあり方など、エネルギー有効利用の未来像を提案します。

■エコモビリティゾーン

環境にやさしい乗り物として、自転車や路面電車、LRT(Light Rail Transit)に注目している自治体が増えています。他の交通機関と組み合わせることで環境負荷の低減を図ったり、地域のまち興しや観光のアイテムとして活用した事例を紹介します。電動アシスト自転車の乗車体験コーナーもあります。

■森林(もり)からはじまるエコライフ展 2010～2011 年は「国際森林年」～

元気な森林を取り戻し、温暖化防止や生態系維持に活かすための様々な活動を、ビジネスとライフスタイルの両面から紹介します。自治体や企業、NPO などが実践する森林づくりの事例や、国産材を使用した木製品やペレットストーブなどの展示、森林ボランティアや都市山村交流などの体験プログラムの紹介なども行われます。

会場内ツアーにエコごはん、リユース&リサイクル…エコライフを実際に体験！

■分野別に学べるエコツアー。今年は新しいツアーを2つ開設。

会場内エコツアー…「エコ入門」や「エネルギー」など、6つのテーマごとに環境のスペシャリストが同行。会場内の見どころや回り方のヒントを紹介します。

エコプロエコキッズ探検隊…小中学生向けのエコツアー。「自然」「3R」など5つのコースをご用意しました。

自然観察会…都市公園で自然と触れ合い生物多様性を実感する「自然観察会」。今回はじっくり観察できる「葛西臨海公園コース」と、東京ビッグサイトに隣接する「水の広場公園コース」があります。

生物多様性ツアー(新設)…生きもの博士・ドクターミーこと富田京一先生が解説をしながら、生物多様性に関するブースを回ります。

リサイクル工場見学会(新設)…会場内で出るゴミや主催者・出展者が廃棄する展示資材をリサイクルする工場の見学会を実施。

英語・中国語・韓国語ツアー…海外来場者向けにそれぞれの言語で会場内を解説するツアー。



■「**エコカー乗車体験**」 電気自動車や燃料電池車など、話題のエコカーを体験できます。

■「**エコごはん&スイーツ**」 オーガニック食材や国産の旬な素材を使用したエコ弁当を10種類以上ご用意。

■「**グリーンストアーズ**」 エコなファッション、コスメ、ライフスタイルを提案するグッズが買える、にぎやかマルシェ。

■「**エコプロゴミゼロ大作戦**」 家庭に眠る衣類・使わなくなった携帯電話・使用済みの家庭用インクカートリッジを持参してリユース&リサイクルしよう！



—開催概要—

- 名 称: エコプロダクツ 2010[第 12 回]
- 会 期: 2010 年 12 月 9 日[木]～11 日[土] 10:00～18:00 [11 日(土)は 10:00～17:00]
- 会 場: 東京ビッグサイト(東展示棟) 東 1～6 ホール
- 入 場 料: 無料(入場登録制)
- 主 催: (社)産業環境管理協会、日本経済新聞社
- 後 援: 経済産業省、環境省、文部科学省、国土交通省、農林水産省、厚生労働省、(社)日本経済団体連合会、(公社)経済同友会、日本商工会議所、東京商工会議所、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構、日本貿易振興機構(ジェトロ)、東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県 [順不同]
- 協 力: (社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会、グリーン購入ネットワーク、(財)日本環境協会、全国連合小学校長会、日本私立小学校連合会、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、全国国立大学付属学校連盟、全国小中学校環境教育研究会、私立大学環境保全協議会 [順不同]
- メディア協力: 日経 BP 環境経営フォーラム、日経エコロジー、ecomom、everblue、環境 goo、GREENSTYLE、J-WAVE、教育新聞、日本教育新聞 [順不同]
- 来場対象: ・企業経営者、企業の購買部門、環境管理部門、製品・商品開発部門、経営戦略部門、社会貢献部門 など
・自治体・官公庁の地域振興部門、購買部門、環境部門 など
・各業界団体、地域産業・商工団体 など
・一般消費者(ファミリー層、主婦、学生、小・中・高生)
・環境 NPO・NGO 団体、市民グループ、環境に関心のある方
- 来場者数: 185,000 人(見込み、前回実績:182,510 人)
- 展示規模: 745 社・団体/1,762 小間 (前回出展実績:721 社・団体/1,735 小間)
- 同時開催: 地域食とものづくり総合展 2010
- 来場者からのお問い合わせ先: フリーダイヤル 0120-261-122 (9:00～18:00 土・日・祝日を除く) ※12 月 24 日までのご案内です。

☞企画の詳細や最新情報のチェックはホームページで → <http://eco-pro.com>

「プレス」ページでプレスリリースや写真/ロゴデータをダウンロードできます。ご利用ください。

☞プレスご来場について

東 5 ホールの商談室(1)に、プレスルームを設けます。当日は、こちらのプレスルームにお越し下さい。

プレスバッジ・報道資料を配布いたします。

■ 本リリース、広報用素材に関するお問い合わせ先

「エコプロダクツ 2010」広報事務局 共同PR株式会社内 担当:渡辺幸^{さちえ}映、安田、宇津木、

〒104-8158 東京都中央区銀座 7-2-22 同和ビル

TEL/03-3571-5238 FAX/03-3571-5380 e-mail:sachie.watanabe@kyodo-pr.co.jp

